

メディアスエフエム第88回番組審議会 議事録

1. 審議日程

令和4年8月31日(水)

2. 場 所

書面審議による

3. 審議者 ※敬称略、五十音順

出席委員) 市野恵、片山麻有、下村一夫、関雅夫、森岡厚

欠席委員) 加藤龍子 以上5名出席

4. 議 題

(1) 報告事項(書面送付にて)

- ・8, 9月の活動報告
- ・今後の活動予定

(2) 番組について審議・・・委員

5. 審議内容

番組審議「8月13日放送 ANIMAN」

概 要: 毎週土曜日 15時～16時に放送している

漫画・アニメをピックアップして掘り下げるサブカルチャー番組

ゲストコーナーや毎週テーマが変わる大喜利コーナーなどがある

今回は映画「ドラえもん～のび太のリトルスターウォーズ 2021～」を紹介

市野委員 / ・最近アニメを観る機会がないので

放送内容についていくのが難しかったが出演者の楽しいトークが良かった。

- ・ドラえもん→見どころの紹介は少なく少し残念だったが
ストーリーは良く分かった。

- ・ニュース紹介の前のトークは少し長いと感じた

全般楽しいが紹介したいことなのか? トークなのか?

話の内容が混在していたので、やや高齢となると内容が残らず

流れてしまう印象になるが、それが楽しさを生んでいるかもしれない。

- 片山委員 / ・ 同年代の人が「ドラえもん」の話をしていて親近感がわいた。
・ アニメやマンガに興味が無いので知らないことも多くあったが
そんな私でも「へえ～」と思うことがあった。
（声優が亡くなった、新しい10月のドラマ とか）
・ ワンピースの人気は凄いと改めて思います。
歌も良いと言っていたので Ado の歌が聴けて
他の曲（映画）も興味がわきました。
・ 知多市出身でマンガ家がいるとは知らず思わず調べました。

- 下村委員 / ・ 飽きずに聴きました、話のプロです。
土曜日の午後、若者は在宅ですか？

- 関 委員 / ・ 2011 年から続く当番組ですが安定感がありさすがの長寿番組と思わせる
マニア受けする重箱のシミを突つつくような話の「ここを見ろ」
典型的に仲間内だけで盛り上がる大喜利など、コアなリスナー向けという
方向性は良い、リスナーからのレスポンスも多く成功していると思う
・ マニアには「なるほど」、一般には「ふーん、へー」と言わせるネタや
「何だそれ」と言われかねない内容になっているのは
むしろ狙いとしては良いと思う
・ 大喜利は他人には理解不能だが、当人たちだけにウケる楽屋オチに
なっている。しかし開き直って進めているのは当たっているかもしれない
大手メディアではなく FM ラジオという媒体ならではという意味で有り。
・ 私見ですが NHK 「ブラタモリ」は本来岩石と地質マニア向けの番組で
中央構造線やフォッサマグナなど、その偏執的な内容が凶らずとも
一般に広く受け入れられたと理解しており参考になると思います。

- 森岡委員 / ・ パーソナリティ 2 人がアニメについて詳しいので
アニメファンなら、とても楽しめる 60 分だと思います。
逆にアニメに興味の無い方の感想を聞いてみたい。
・ トークのプロなので立て板に水を流すごとく
よどみないやり取りが、なんとなくでも聴いていただけるのかもと
思うと有意義な番組だと思う

6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社ホームページ（URL）への掲載（2022 年 9 月 20 日）

以上

文責：地域情報部 加藤嘉章